

令和4年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2022

	No	種目	研究者		研究期間	新規継続	【研究課題】
研究代表者	1	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 安部 貴洋	H29 ~R4	継続	「現実探求としての生活綴方」の理論形成と変容
	2		健康栄養学科	教授 沼山 博	H31 ~R4	継続	子どもを持たない中年期成人の幸福感に関する国際比較研究—日・台・韓を中心として
	3		健康栄養学科	教授 齋藤 和也	H31 ~R4	継続	噛むと飲むの交差点:神経基盤の解明と嚥下障害治療への応用
	4		健康栄養学科	教授 安部 貴洋	R2 ~R5	継続	人間綴方と生活綴方における「自然」の再考
	5		健康栄養学科	講師 南 育子	R2 ~R5	継続	タンパク質立体構造からの食物アレルギー抗原性の調理・加工による変化の予測と評価
	6		健康栄養学科	助手 船木 智	R2 ~R4	継続	VCP化合物の最適化による新規神経保護薬の開発
	7		健康栄養学科	教授 加藤 守匡	R3 ~R5	継続	消化管機能・腸内環境の可塑性に与える運動トレーニングの影響
	8		健康栄養学科	教授 成田 新一郎	R4 ~R6	新規	外膜タンパク質のフォールディングを支えるペリプラズムシャペロンネットワークの解明
研究分担者	9	基盤研究(B)	健康栄養学科	教授 加藤 守匡	R4 ~R6	新規	腸内細菌叢由来代謝物質がもたらす持久力向上分子基盤の解明

令和3年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2021

	No	種目	研究者		研究期間	新規継続	【研究課題】
研究代表者	1	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 安部 貴洋	H29～ R3	継続	「現実探求としての生活綴方」の理論形成と変容
	2		健康栄養学科	教授 沼山 博	H31～ R4	継続	子どもを持たない中年期成人の幸福感に関する国際比較研究－日・台・韓を中心として
	3		健康栄養学科	教授 齋藤 和也	H31～ R3	継続	噛むと飲むの交差点：神経基盤の解明と嚥下障害治療への応用
	4		健康栄養学科	教授 安部 貴洋	R2～ R5	継続	人間綴方と生活綴方における「自然」の再考
	5		健康栄養学科	講師 南 育子	R2～ R5	継続	タンパク質立体構造からの食物アレルギー抗原性の調理・加工による変化の予測と評価
	6		健康栄養学科	助手 船木 智	R2～ R4	継続	VCP化合物の最適化による新規神経保護薬の開発
	7		健康栄養学科	教授 加藤 守匡	R3～ R5	新規	消化管機能・腸内環境の可塑性に与える運動トレーニングの影響

令和2年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2020

	No	種目	研究者		研究期間	新規継続	【研究課題】
研究代表者	1	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 安部 貴洋	H29～ R2	継続	「現実探求としての生活綴方」の理論形成と変容
	2		健康栄養学科	教授 成田 新一郎	H30～ R2	継続	細菌外膜LPSトランスロコン生合成におけるBepAの作動機構の解析
	3		健康栄養学科	教授 沼山 博	H31～ R4	継続	子どもを持たない中年期成人の幸福感に関する国際比較研究一日・台・韓を中心として
	4		健康栄養学科	教授 齋藤 和也	H31～ R3	継続	嘔むと飲むの交差点：神経基盤の解明と嚥下障害治療への応用
	5		健康栄養学科	教授 安部 貴洋	R2～ R5	新規	人間綴方と生活綴方における「自然」の再考
研究分担者	7	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 成田 新一郎	H30～ R2	継続	細菌リポ蛋白質の選別的な膜局在化を支える分子基盤の解明
	8	基盤研究(B)	健康栄養学科	教授 成田 新一郎	H30～ R2	継続	膜外コンポーネントと共役して機能する新奇ABC輸送体の構造機能解析

令和元年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2019

	No	種目	研究者		研究期間	新規継続	【研究課題】
研究代表者	1	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 沼山 博	H28～ R1	継続	子どもを持たない中・高齢者の主観的幸福感－キャリア変数による比較, 世代性との関連
	2		健康栄養学科	教授 加藤 守匡	H28～ R1	継続	運動能力と宿主-腸内細菌の相互作用に関する分子基盤の検証
	3		健康栄養学科	教授 安部 貴洋	H29～ R1	継続	「現実探求としての生活綴方」の理論形成と変容
	4		健康栄養学科	教授 沼山 博	H31～ R4	新規	子どもを持たない中年期成人の幸福感に関する国際比較研究－日・台・韓を中心として
	5		健康栄養学科	教授 齋藤 和也	H31～ R3	新規	噛むと飲むの交差点: 神経基盤の解明と嚥下障害治療への応用
	6	若手研究	健康栄養学科	助手 古田 歩	H31～ R3	新規	加熱した魚をおいしくいただくための処理条件の探索とその要因の解析
研究分担者	7	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 沼山 博	H27～ R1	継続	地域コホート法による「人間発達と社会変動」の検討: 昭和ひと桁世代を対象として
	8	厚生労働科学研究費	健康栄養学科	教授 大和田 浩子	H30～ R1	継続	障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の検証等のための研究

平成30年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2018

	No	種目	研究者		研究期間	新規継続	【研究課題】
研究代表者	1	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 沼山 博	H28～ H30	継続	子どもを持たない中・高齢者の主観的幸福感－キャリア変数による比較, 世代性との関連
	2		健康栄養学科	教授 加藤 守匡	H28～ H30	継続	運動能力と宿主-腸内細菌の相互作用に関する分子基盤の検証
	3		健康栄養学科	教授 安部 貴洋	H29～ H31	継続	「現実探求としての生活綴方」の理論形成と変容
	4		健康栄養学科	教授 高橋 和昭	H29～ H31	継続	ニワトリ消化管における生体防御応答の包括的理解
研究分担者	5	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 沼山 博	H27～ H30	継続	地域コホート法による「人間発達と社会変動」の検討: 昭和ひと桁世代を対象として
	6	厚生労働 科学研究費	健康栄養学科	教授 大和田 浩子	H30～ H31	新規	障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の検証等のための研究